



BOKUTO KOTARO X
AKAASHI KEIJI

KURO TETSURO X
KODUME KENMA

R-18

confusion

~jealous2~



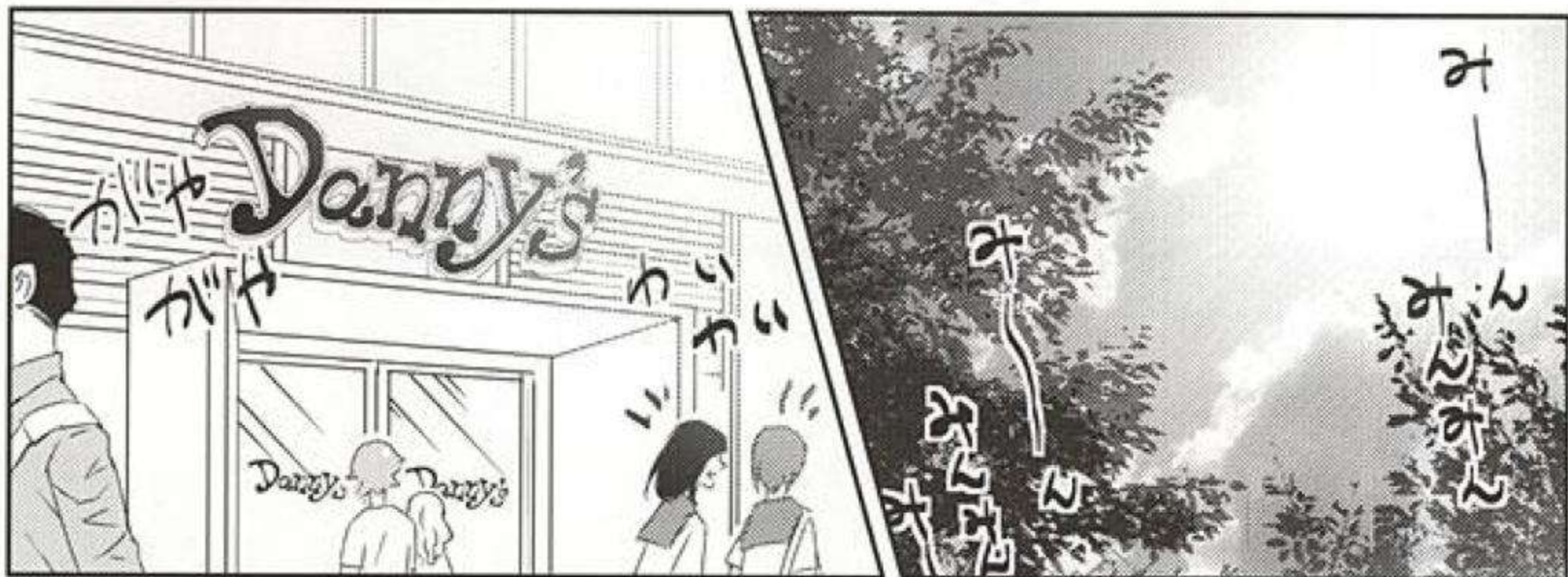
今
なんて？

え…



男同士の…
その…
やり方を
教えてくれないか

だから…



ごめん…
言わないで
おこうと
思ってたんだけど

俺と木兎さん…
見ちゃったんだ
その…合宿中の
孤爪と黒尾さんの…

そ…
そうだった
んだ…

なんか
ごめん…

いや…
別に赤葦は
悪くないよ…

あつちがけりん

黒尾さんとは
いつから…?

そんなに…
前じゃない

なんか…
最初はほんとに
冗談みたいな
感じで
付き合ってた…





いつの間にか…

いつの間にか
……!?



うーん…
なんとなくって
いうか…



そんな
いつの間にかなんて
なんとなくで
男同士の壁を
こえられる
ものなのか…?



でもさ…
少しも抵抗
なかったのか?

男同士って
確か
使うところが…
その…



おれとクロって
昔から触りっことか
キスくらいなら
してたから…

「あ…これは
参考に
ならないな」
赤葦は直感した



赤葦…
男同士で
しようとしてる
相手って…

木兎さん？

どき



なんか…
孤爪と黒尾さんの
見てから
妙な感じに
なっちゃって…

俺も
意識し過ぎ
だとは
思うんだけど…

元々スキップの
タイプだし



もうなんだか
ギクシヤク
してきちゃってさ…

このままじゃ
連携が命の
バレーも
ダメになる…

それなら
いっそのこと
一回くらいやって
スッキリ現実
見た方が
いいんじゃないかって…



「あ…これは
正常な判断力を
失っているな」
研磨は直感した

しかし
面白そうなので
黙っている
ことにした



あ
ああ…
そうなるな…

えっと…
それじゃ
赤葦が
女役なの？

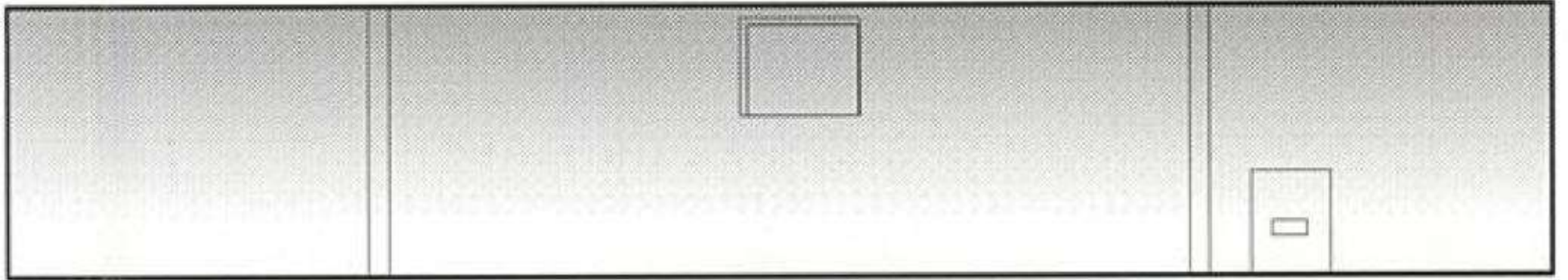
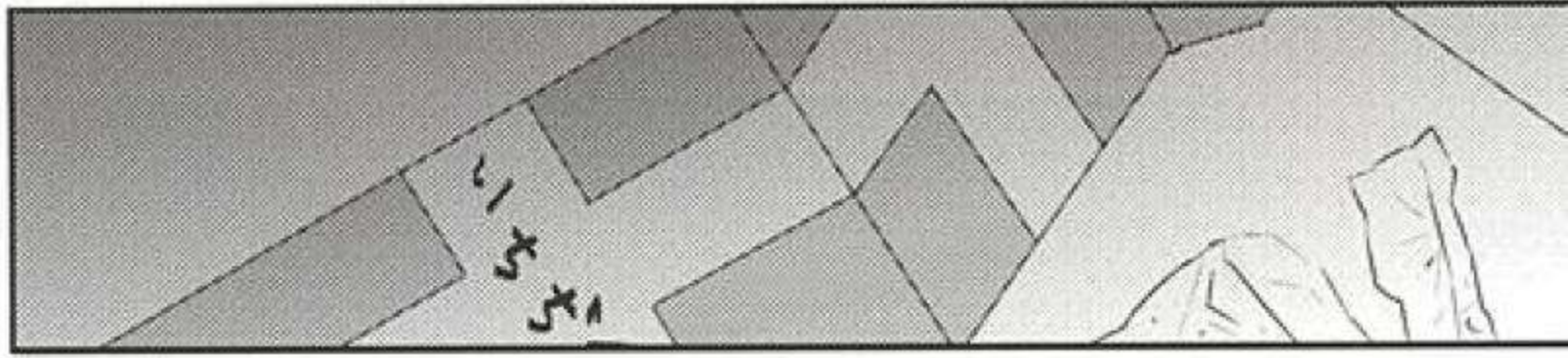


あと
赤葦はそういうの
気にしちゃうから
……



まず
ゴムとローションは
絶対必要
しっかり馴染ませないと
後がづらい

ローションは
ちゃんと
混ぜる



いざ
戦場へ!!

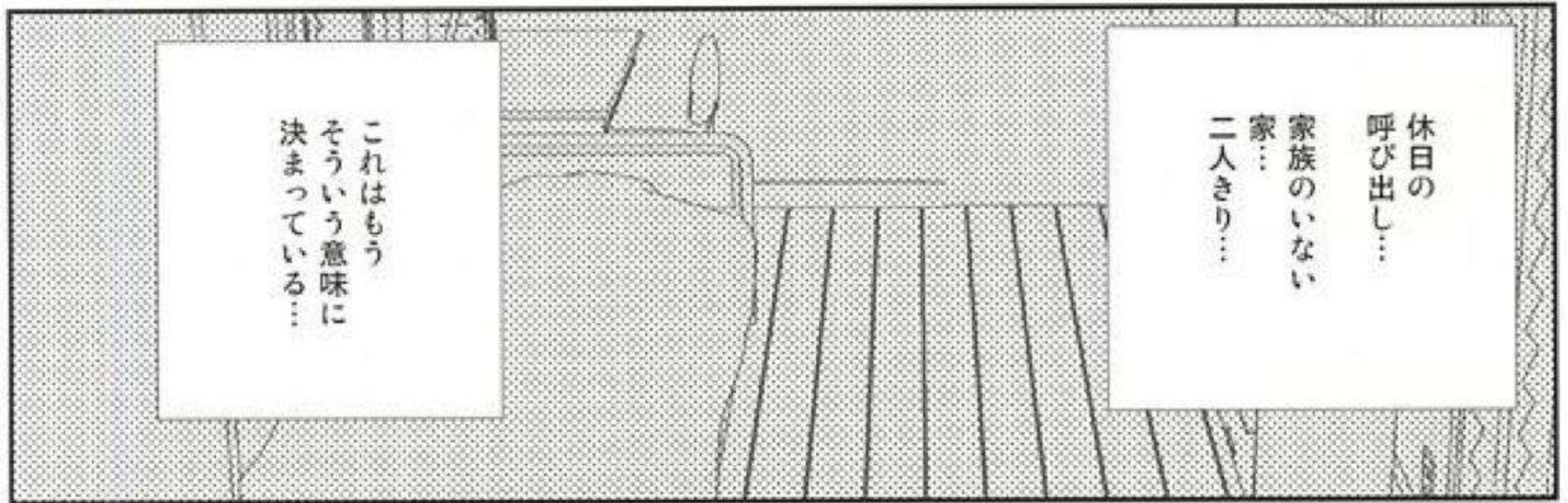
よお
赤葦イ!
よく来たな!

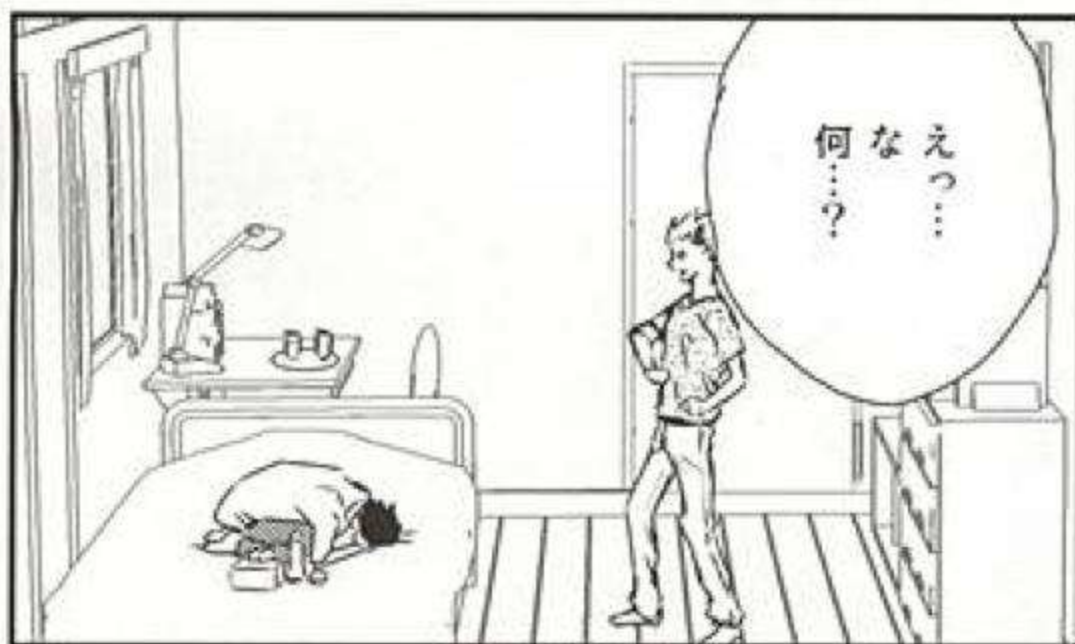
お邪魔します
これ
差し入れです

おお
サンキュー!

先に
部屋行って
飲み物
用意してくわ

はい
わかりました



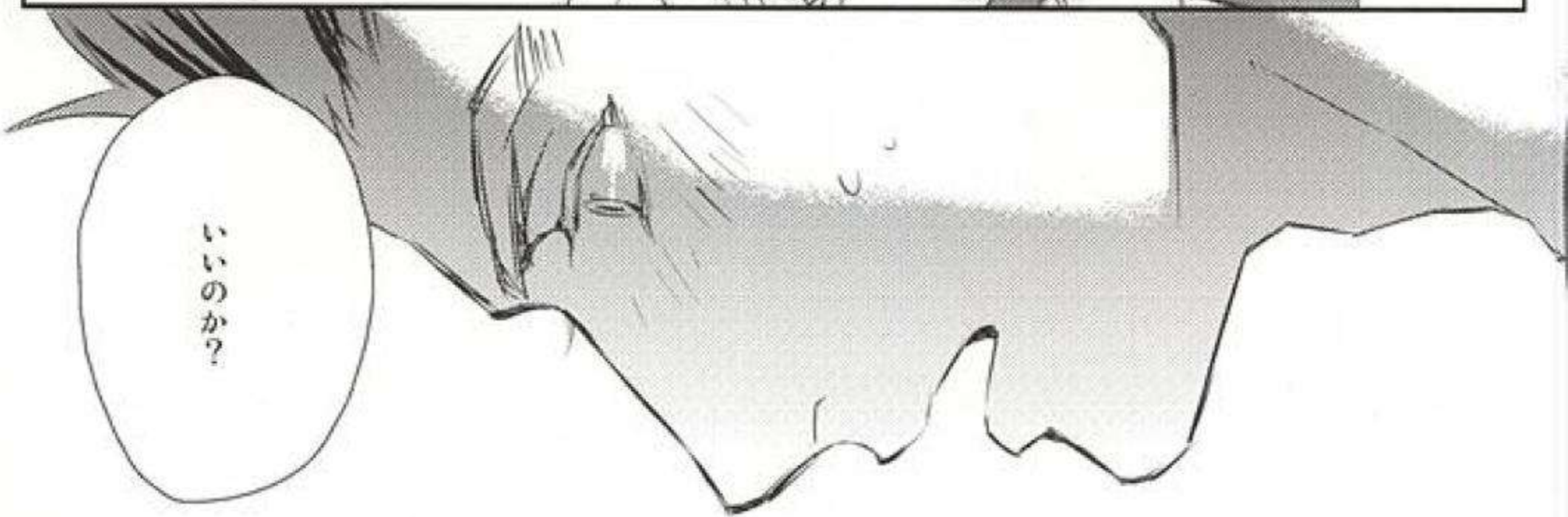


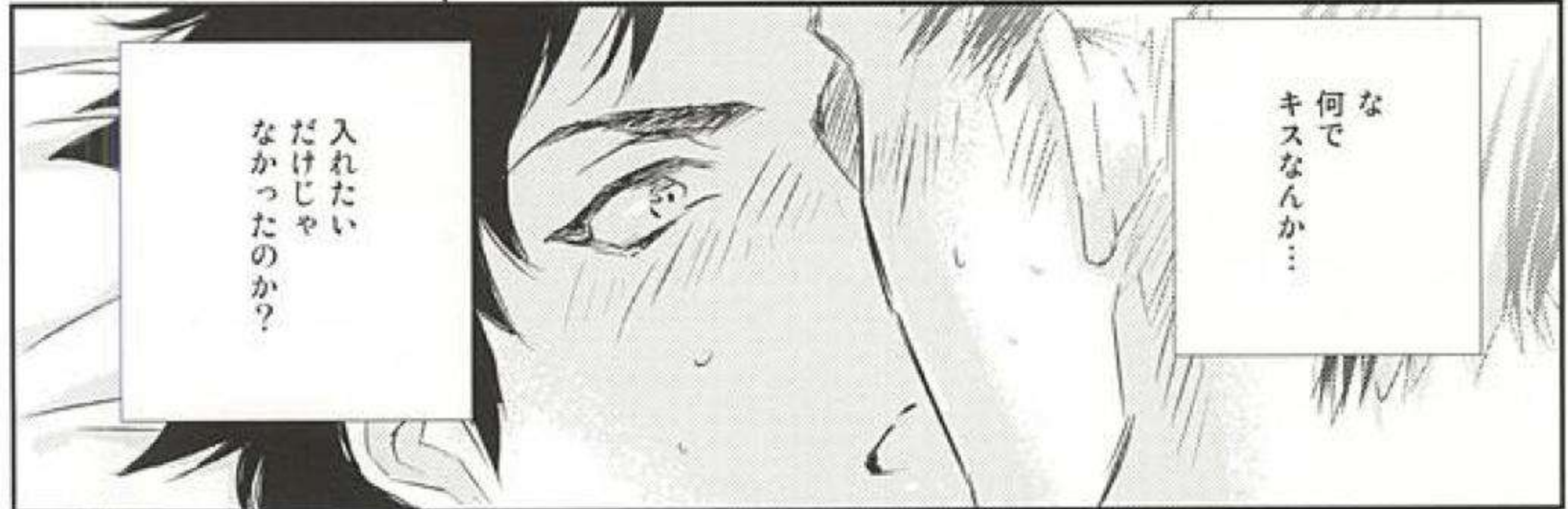
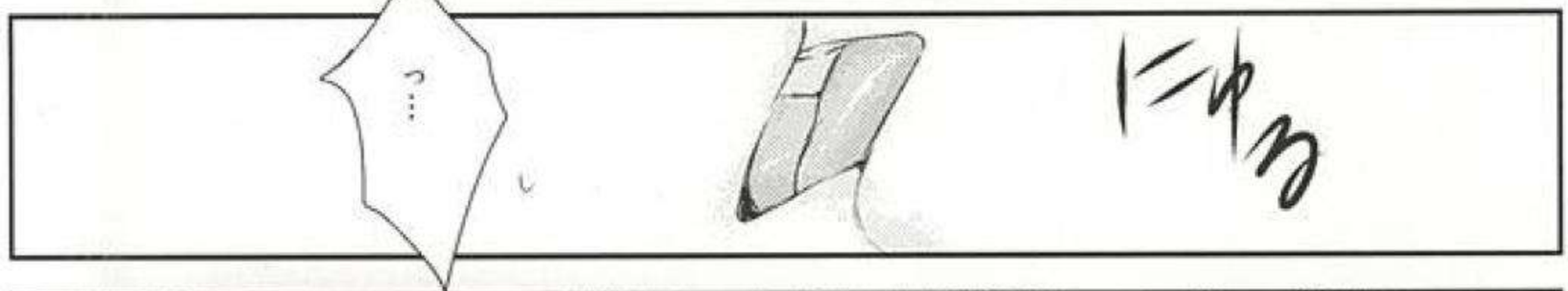


何なん
ですかあ——ッ
やりたがってたのは
アンタ
でしょうがあ——ッ



俺は
恥を忍んで
孤爪にまで
話を聞きに
行ったって
いうのに……っ







わっ

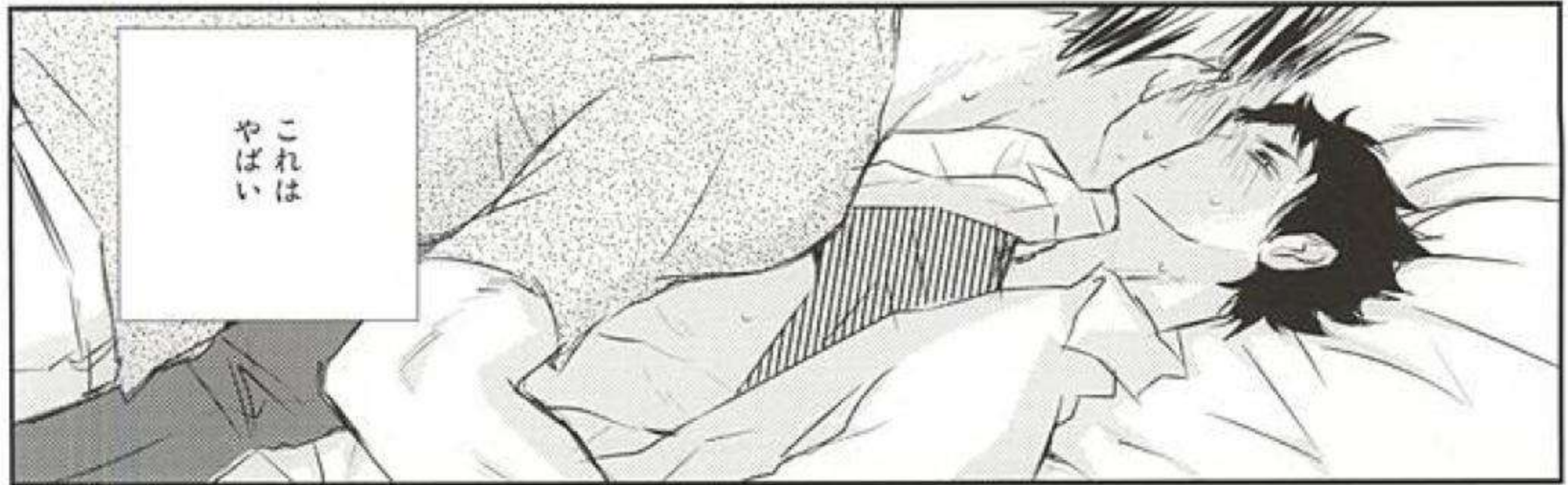


...?

か
あ



赤葦も
勃ってる



これは
やばい



赤葦

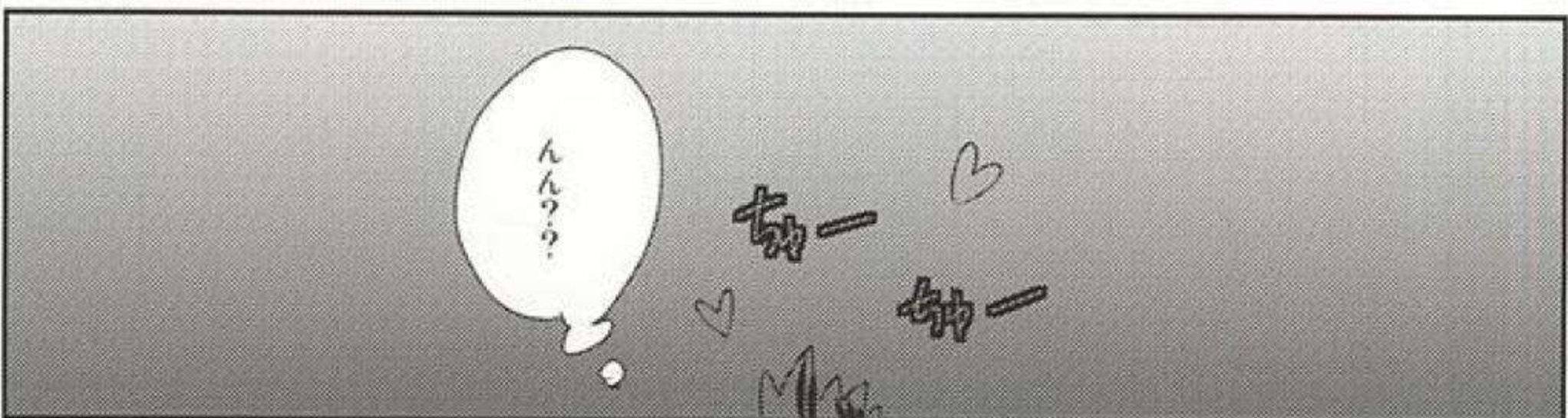
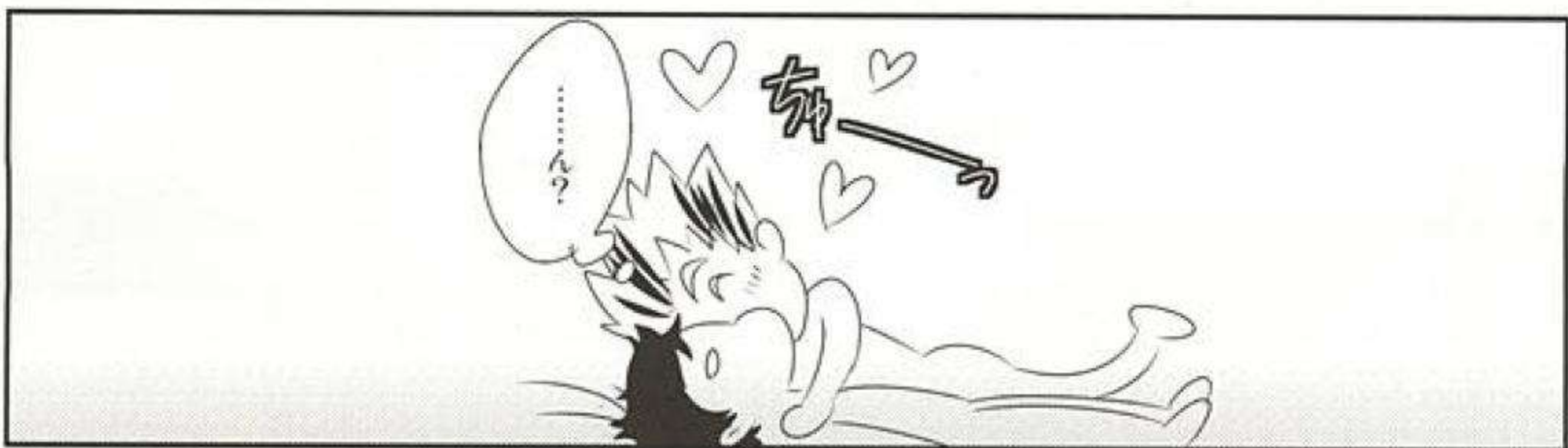
これじゃ
まるで



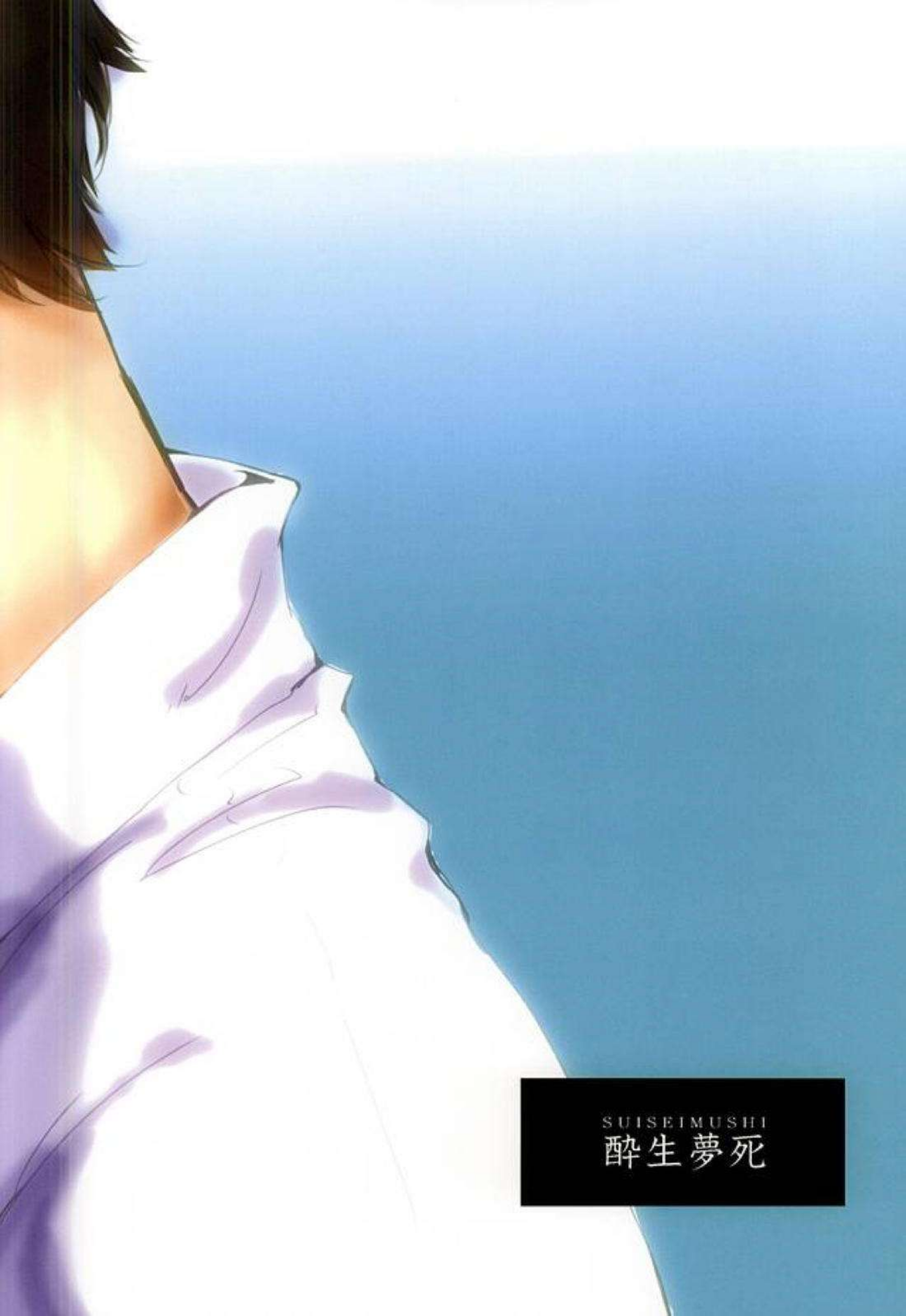








...to be continued?



SUISEIMUSHI
醉生夢死